

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	交流・環境	29年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 総合開発課 金城・中川・南5区担当課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成	成果	コスト			
事務事業名	中川運河再生計画の推進	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7978
目的	対象(誰・何を)	中川運河			連携課	管財課
	意図(どういう状態にしたいか)	中川運河再生計画(平成24年10月策定)に従い、歴史をつなぎ、未来を創る運河へ再生します。			事業期間	平成25～令和4年度 (計画期間前半10年間)
概要	市民・企業・学校・行政等の多様な主体が行う各事業の調整・連携及び運河再生に向けた取組みの進行管理を行う組織として設置した中川運河再生推進会議を開催します。また、本組合が実施主体となった再生計画の施策について取り組みます。				根拠法令等	
30年度の実施予定	中川運河再生推進会議や中川運河再生講座を開催予定です。また、観光舟運のための水上交通のモニタリング調査実施、支線を含むにぎわいゾーンの開発について庁内で横断的に検討していく予定です。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連シート	中川運河緑地(堀止地区)整備事業、中川運河(堀止地区等)水質改善事業

2 DO(実施)

30年度に実施した内容・結果	中川運河再生講座を10月から11月にかけて開催いたしました。名古屋市と連携して、中川運河の水上交通の試験運行を昨年度より継続して行いました。また、支線部を含むにぎわいゾーンの開発については、庁内で横断的に検討し、東支線の護岸補修や水質改善の一層の取り組みを進めるため、整備方針を定め進めていくこととしました。					
コスト	単位	28年度	29年度	30年度	合計(25年度～)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	760	14,783	35,868	52,617	平成30年度については、水上交通の試験運行が1年間実施したことにより費用が増加しました。
人件費	千円	5,823	5,974	5,992	25,646	
合計	千円	6,583	20,757	41,860	78,263	

3 CHECK(検証)

指標名		28年度	29年度	30年度	最終目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
計画における施策を実施した数(全5施策)	目標	4	4	5	5(累計)		再生計画の施策のうち、本組合が取組む5施策を実施した数。(ガイドラインの策定、乗船場の設置、水上交通体験乗船、ポンプ所稼働状況の情報発信・共有、水上交通モニタリング調査)	
	実績	4	4	5				
(進行管理型)	事業進捗状況(30年度)			順調	やや遅れ・遅れ			
推進会議の開催回数(全7回)	目標	5	6	7	7(累計)		計画の進行管理のために設置した中川運河再生推進会議の開催実績	
	実績	5	6	7				
(進行管理型)	事業進捗状況(30年度)			順調	やや遅れ・遅れ			
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	本組合が取組む5施策を予定通り実施し、中川運河再生推進会議についても開催しており、計画における施策については概ね順調に進んでいます。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 中川運河再生計画は、市民・企業・学校・行政等の多様な主体が取組む計画であり、名古屋市とともに計画の推進が必要であります。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 本事務事業は、中川運河再生を通じて、施策「うるおいと魅力ある港湾空間の形成」に資するものと考えております。						
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 最小限の人員体制で対応しています。						

4 ACTION(取組)

5年間の状況	課題	令和元年度以降の取組	継続
順調	引き続き、関係機関と連携を図りながら、水上交通の実現、老朽化した護岸の改修、水質改善など運河の再生に向けた取組を推進していく必要があります。	水上交通の実現に向けては、事業採算性などの検証を行っていきます。また、老朽化した護岸の改修とともに沿岸用地へのにぎわい施設等の誘導も行っていきます。更に、「中川運河再生推進会議」の開催など、引き続き、運河の再生に向けて名古屋市を始めとした関係機関と連携して取り組んでいきます。	